明石学園のあゆみ

（令和７年度事業概要）

児童自立支援施設

兵庫県立明石学園

は　じ　め　に

今から 116 年前の明治 42 年（西暦 1909 年）、現在の「県立明石学園」があるこの地に、前身となる「県立土山学園」が創設されました。当学園は、兵庫県庁のなかでも歴史ある機関であり、設立当時は、全面赤土の小さな松が群生する原野で、夜には狐の鳴く声が聞こえていたとのことです。

当学園の施設の種別は、設立から感化法に基づく「感化院」、少年教護法に基づく「少年教護院」、児童福祉法に基づく「教護院」、そして「児童自立支援施設」と変更されました。また、施設の名称も、「県立土山学園」、「県立農工学校」、そして「県立明石学園」へと変えながら、約６千７百人を超える非行少年といわれるこどもや、家庭環境等から生活指導が必要なこどもを受け入れ、社会に送り出してきました。

さて、今年は、第２次世界大戦の終戦から 80 年の節目を迎えます。この間、我が国は大きく発展し、モノや情報が溢れる社会となりました。しかし、その一方で、児童虐待やいじめ、ＤＶの増加など、こどもと家庭を巡る悲惨な出来事や事件が後を絶ちません。少子化や核家族化が進み、家族の絆や地域の結びつきが希薄になっていることが背景にあるように思います。

当学園では、こどもたちを「小舎夫婦制」という、夫婦の職員が各寮舎で家庭的な雰囲気を築き、基本的な生活習慣の習得や、学習、スポーツ・文化活動、農園芸作業等を通じて、こどもたちが地域社会で自立できるよう支援してきました。社会の変化に伴い、当学園においても、近年、家庭で保護者から虐待を受けていたこどもや、知的に遅れや発達に偏りのあるこども、愛着に問題のあるこどもの入所が増えています。

私たちはまず、そうした背景を受けとめ、こどもが安心できる「居場所」としての環境を整えるとともに、こども一人ひとりの意見に耳を傾け、その想いや願いを大切にしながら、退園後の将来を共に描いてまいります。また、こどもの意思決定を支えることにより、自らの判断で人生を歩む力を育てていきます。

さらに、当学園は、これからもすべてのこどもが尊重され、健やかに成長できる施設として、こどもの権利擁護の取組の充実強化に努めるとともに、こども支援の体制と運用の見直しを継続してまいります。

今後も、当学園の運営にご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いします。

令和７年６月

兵庫県立明石学園長　稲田 直彦

運　営　理　念

私たち職員は、こどもたちを「変えよう」とするのでなく、こどもたち自身が「変わろう」とするこころを育み、支援していきます。

基　本　方　針

１　生命の尊重

私たち職員は、一人ひとりのこどもがかけがえのない命を持ち、無限の可能性を持っている存在として大切にします。そのため、こどもたち自身が自分を大切にするだけでなく、他の人も大切にし、生き甲斐を実感できるように支援します。

２　こどもの最善の利益

私たち職員は、一人ひとりのこどもの最善の利益を第一に考え、学園での生活を通して、こどもの自立及び自己実現のために、こどもの生活の質の向上に努力します。

また、私たち職員は、小舎夫婦制による支援を基本に、常にチームワークを心がけ、学園全体として補完するとともに、自己研鑽・自己評価を行い、常に自らの専門性と資質の向上を高めるよう努力します。

３　こどもの権利擁護の推進

私たち職員は、児童の権利に関する条約を遵守し、いかなる差別・虐待・人権侵害、特に職員のこどもに対する体罰、こども間のいじめ、暴力を許さず、こどもの権利を擁護するための取組を推進します。

特に全職員の共通認識のもと、こどもの人格を尊重するとともに、こどもの年齢および発達の程度に配慮した支援に努め、いかなる場合においても、身体的及び心理的な苦痛を伴う行為やわいせつな行為、こどもに対する威圧的な言動、不公平なふるまい、無視などすべての不適切な関わりを行いません。

４　こどもの成長・発達への支援

私たち職員は、こどもが基本的な生活習慣や道徳観を身につけ、発達年齢に相応しい正義感や責任感が持てるよう支援します。

５　こどもの自立への支援

私たち職員は、こどもの発達年齢に応じた学力や生活技術の習得、そして、こどもたちの能力や希望を尊重した進路選択を支援します。

６　プライバシーの尊重と個人情報の保護

私たち職員は、一人ひとりのこどもや保護者のプライバシーを尊重するとともに、職務上知り得た個人情報を漏らしません。

「兵庫県立明石学園の児童自立支援指針」より抜粋

目　　次

1　施設の概要
（１）目　的 …… 1
（２）名称・所在地等 …… 1
（３）沿　革 …… 1
（４）職　員 …… 1
（５）建　物 …… 2
建物配置図 …… 2
建物平面図 …… 3
2　運営方針 …… 4
3　業務概要
（１）自立支援指導 …… 5
（２）文化とのふれあい体験活動 …… 6
（３）中学卒業生教室の運営 …… 6
（４）給　食 …… 7
（５）児童の権利擁護の取組 …… 8
（６）心理支援 …… 9
（７）職員専門研修参加状況（令和6年度） …… 10
（８）実習生の受入状況（令和6年度） …… 11
（９）日　課 …… 12
（10）年間行事予定（令和7年度） …… 13
4　学校教育の実施
（１）明石市立魚住中学校　分教室 …… 15
（２）明石市立清水小学校　分教室 …… 15
5　令和6年度の実績
（１）月別在籍人数の年度推移 …… 16
（２）月別実人数の年度推移 …… 16
（３）学年別在籍人数の年度推移 …… 17
（４）こども家庭センター別入所人数の年度推移 …… 17
（５）在籍児童の入所時の学年別人数 …… 18
（６）在籍児童の入所理由別人数 …… 18
（７）在籍児童のこども家庭センター・出身地別人数 …… 18
（８）在籍児童の保護者の状況（入所時） …… 19
（９）在籍児童の被虐待状況の年度推移 …… 19
（10）入所児童の障害等状況の年度推移 …… 19
（11）問題行動等報告の年度別内訳 …… 19
（12）無断外出の発生状況の年度推移 …… 20
（13）退所児童の在籍期間の年度推移 …… 20
（14）退所理由の内訳の年度推移 …… 21
（15）中学卒業生進路の内訳の年度推移 …… 21
6　行事・クラブ活動
（１）主要行事等一覧（令和6年度） …… 22
（２）クラブ活動の成績（近畿・全国大会） …… 24

1　施　設　の　概　要

(1) 目 的

明石学園は、児童福祉法第４４条に基づく「児童自立支援施設」であり、「不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童を入所させ、又は保護者の下から通わせて、個々の児童の状況に応じて必要な指導を行いその自立を支援することを目的」としている。

(2) 名　称・所在地等

- 名　　称　兵庫県立明石学園
- 所 在 地　明石市魚住町清水2744
- 入所定員　暫定定員48名（令和7年度）
- 敷地面積　90,279．06平方メートル

(3) 沿　革

明治42年　3月　1日　感化法に基づき「感化院」創立
　名称を「兵庫県立土山学園」とし入所定員100名で発足
昭和　9年10月10日　少年教護法の施行により、「少年教護院」となり、「兵庫県立農工学校」と改称
昭和23年　1月　1日　児童福祉法の施行により、「教護院」となる。
昭和26年　7月10日　市町村合併により「兵庫県立明石学園」と改称
昭和44年　7月　1日　入所定員130名となる。
昭和46年　4月　1日　学校教育法による「学校教育」を導入（部分的）
昭和62年　4月　1日　「分教室」を設置
平成　2年　4月　1日　特別指導寮「くすのき館」の運営を開始
平成10年　4月　1日　児童福祉法の改正により、「児童自立支援施設」となる。
平成21年10月31日　創立100周年記念式典を開催

(4) 職　員　（令和7年4月1日）

区　分		事務職	児童自立支援専門員等	児童心理職	調理員	計	会計年度任用職員等								
							栄養指導業務	調理員	営繕用務事務	清掃用務事務	庁舎管理事務	児童生活支援事務	臨時的任用職員	計	合計
職員数	総務課	4			3	7	1	2	1	1	3			8	15
	教務第1課		7	1		8						4	1	5	13
	教務第2課		10			10								0	10
	合　計	4	17	1	3	25	1	2	1	1	3	4	1	13	38

（注）1　園長は、総務課事務職に含む
　　2　魚住中学校分教室（10 名）、清水小学校分教室（2 名）の教員は除く。

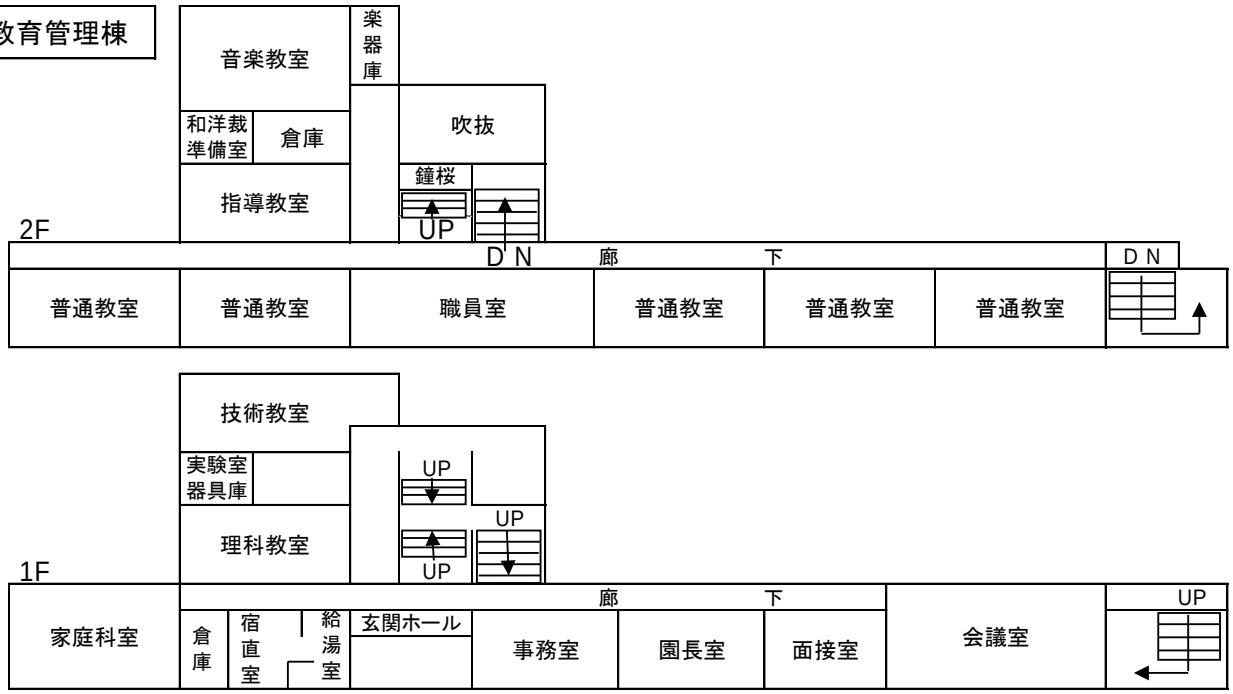
(5)建　物　　単位：㎡

名　称	建　面　積	延 床 面 積	建 築 年 月 日	備　考
教育管理棟	439.60	870.22	S53. 3.31	教室、園長室他
はるか寮	264.75	264.75	H 1. 3.31	日常生活寮(男子年長児)
紅　葉　寮	264.99	264.99	H 3. 3.31	休止中
さくら寮	264.99	264.99	H 4. 2.25	日常生活寮（男子）
五　月　寮	265.47	265.47	H11. 8. 2	日常生活寮（女子）
白　梅　寮	265.47	265.47	H13. 3.29	日常生活寮（男子）
木　葉　寮	261.27	261.27	H23. 2.21	日常生活寮（男子）
葵　　寮	261.27	261.27	H23. 2.21	日常生活寮（男子）
くすのき館	713.52	713.52	H 2. 3.31	特別指導寮(男子交替寮)
くすのき南寮	265.47	265.47	H 5. 3.29	特別指導寮(女子交替寮)
職業指導棟	118.00	118.00	H 1. 3.31	
旧講堂兼体育館	695.57	695.57	S54. 3.31	
新体育館兼講堂	853.56	939.00	H28. 3.25	
調　理　棟	210.17	192.84	H31. 1.30	
そ　の　他	459.84	459.84	—	—
計	5,603.94	6,102.67	—	—

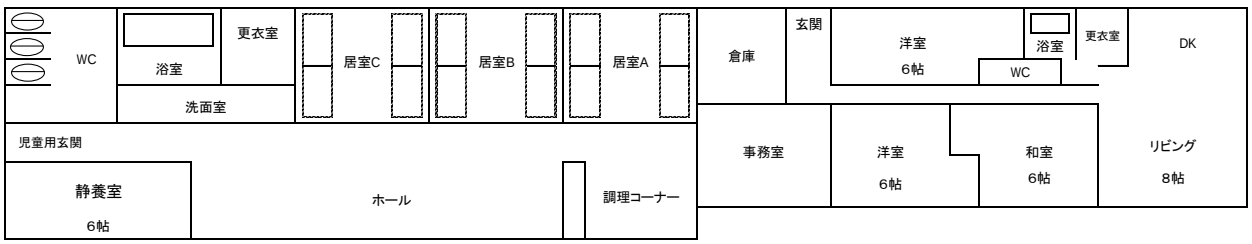
【建物配置図】

［ 建物平面図 ］

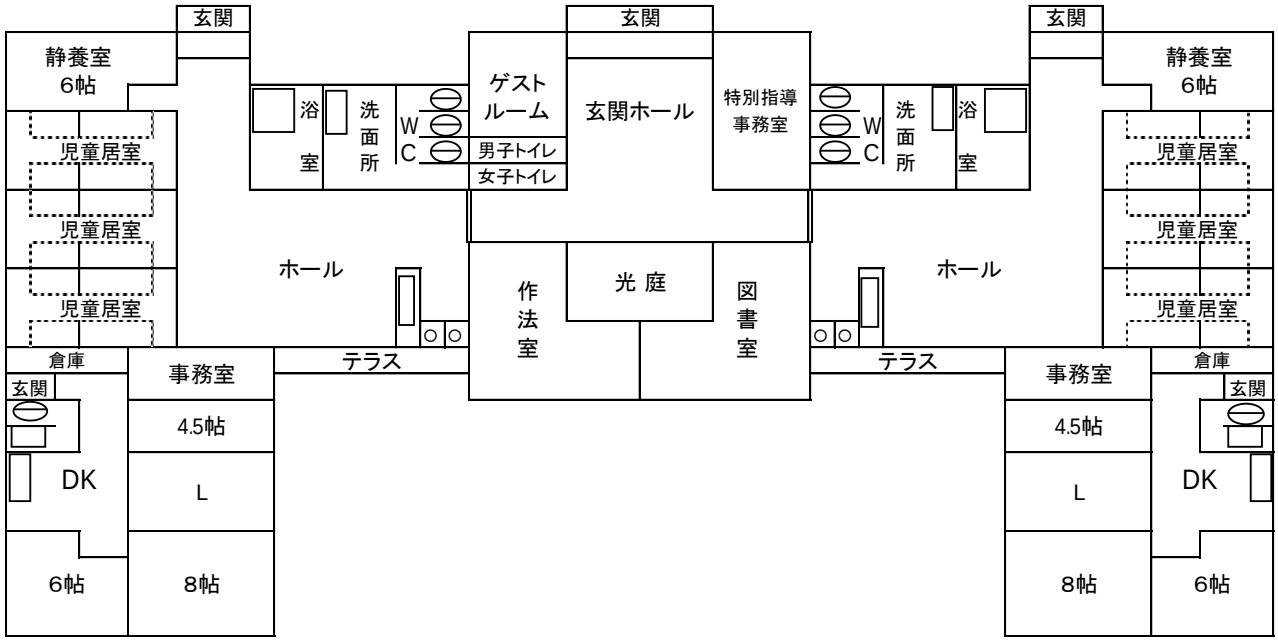
教育管理棟



日常生活寮（ 葵 寮 ）



特別指導寮（くすのき館）



2 運　営　方　針

(1) 明石学園においては、指導の基盤を「小舎夫婦制」におき、寮舎は児童の基本的生活の場であり、寮ごとに形成される児童の集団は、施設生活の単位集団となっている。

寮担当の職員は、夫婦（児童自立支援専門員・児童生活支援員）であり、家族ぐるみで寮舎に居住し、保護者に代わって日々の暮らしの中で児童の情緒安定を図り、全人格を育てることにより児童の“自立支援”を行っている。

(2) 「小舎夫婦制」の家庭的な雰囲気の中で、職員と児童が生活を共にし、児童が楽しく規律正しい学園生活を送ることができるよう、日々の生活、学校教育、クラブ活動、農園芸・作業指導等を通して、児童の特性に応じた指導を行い“児童の権利を擁護”しながら、“児童の最善の利益”を求めている。

農園芸作業

◂ 日々の生活
（犬の散歩）

余暇
（サッカー観戦）▸

(3) 入所してくる児童の多くは、乳幼児期の発達過程でつまずきがみられ、基本的な信頼関係の構築が不十分なため情緒面で安定を欠き、家庭・地域で落ち着いた生活が送れていない。

学園では職員と児童の絆を基本に、基本的な生活習慣の習得や家族との再構築を図る「育ち直し」の場となるよう、また、将来の自立につながるよう、次の点に留意しながら運営を行っている。

① 児童の情緒を安定させるため、家庭的な雰囲気の中で生活し、良好な人間関係を体験させる。
② 社会生活に必要な生活習慣を身につけさせるため、規律正しい生活を積ませる。
③ 問題行為等を繰り返さないよう、人や物を大切にする優しい気持ちを育みながら、児童の倫理感覚を育てる。
④ 児童の学習指導に重点をおくとともに、学校や家族等と協力して、進路指導を充実させる。
⑤ クラブ活動を奨励し、自主性・協調性を育てるとともに、達成感・自己肯定感を体得させる。
⑥ こども家庭センター等関係機関と連携を深め、計画的な自立支援にあたる。

(4) 児童の自立支援計画については、児童一人ひとりのアセスメントに基づき、処遇検討会や嘱託精神科医とのケース研究、児童相談所との協議を踏まえた上で、策定や定期的な評価・見直しを行うとともに、児童にも説明を行う。

(5) 児童の権利擁護を図るため、入所児童やその保護者からの苦情に迅速かつ適切に対応するため苦情解決体制を整えるとともに、入所児童が自由に意見や苦情を申し立てられるよう意見箱の設置、学園生活へのアンケートを行う。また、入所児童が、学園内でより快適な生活ができるよう寮代表者と職員が話し合う寮代表者会議を開催する。

3　業　務　概　要

(1) 自立支援指導

自立支援指導は、一人ひとりの児童の特質、特徴を踏まえながら、毎日の日課と行事を通して実践している。

項　目	目　的　・　内　容
生活指導	情操教育や余暇・作文・保健衛生指導を通して、規律正しい生活と社会生活に必要なマナーを習得し、健全な社会生活を営むために必要な人格を形成
学習指導	社会生活を営むために必要な学力を習得し、高校進学等に意欲のある児童には、補習等を実施
クラブ活動指導	クラブ活動に取り組むことによる、「助け合う気持ち」「思いやる心」「最後までやりぬく力」の涵養 【クラブ】野球・バレーボール・卓球・陸上・美術・陶芸・茶道・家庭科 野球部 バレーボール部 美術部 家庭科部
農園芸作業指導	自然に親しみながら、庭の手入れや野菜、果樹、花等の栽培、収穫を行い、食する喜びまでの過程をとおした達成感の育成 苗の植え付け 収穫した野菜

(2) 文化とのふれあい体験活動

自立支援の重点課題である児童の情操教育を育てるため、外部の専門講師による特別指導事業として、文化とのふれあい体験活動を実施している。

項　目	活　動　内　容	活動回数 (R6 実績)
食文化体験	おせち、クリスマスケーキ、お弁当などの季節の料理を作り、食べることを楽しむことにより生活を豊かにする	36 回
良書体験	読書、硬筆書きかた、読み聞かせ、朗読劇披露を通して、多くの書物に親しみ、楽しみながら人生を学ぶ体験	33 回
茶道体験	礼儀作法、茶道の点前を習得し、行事の茶会での点前披露などすることにより社会や生活を考える 	25 回
生活体験	【折紙製作】折紙作品制作による達成感の獲得体験	37 回
	【性教育】助産師等による性教育を受講し、性の正しい知識、意思決定や行動選択を学ぶ	6 回
	【命の教育】救命救急の看護師による AED や命の教育を受講し、命の大切さ、命を守ることを学ぶ	1 回
	【野球指導】野球について外部コーチによる技術指導を受け、野球への理解と親和を深める 	3 回
	【ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ研修】青少年センター職員の講話を聞き、インターネットを介した交流の危険やゲーム依存について学ぶ	1 回
	【薬物乱用防止教室】少年サポートセンター職員の講話を聞き、違法薬物、薬物依存について学ぶ	2 回
音楽体験	【創作エイサー体験】 沖縄の伝統芸能であるエイサーを学び、体育祭等でその演舞を披露する 	12 回
	【盆踊り会】 日本の伝統文化の一つである盆踊りを体験するとともに、夏祭りとして近隣住民を招いて交流を図り、学園活動への理解を促進する 	2 回

(3) 中学卒業生の自立支援

中学卒業後も引き続き在園する児童のための中学卒業生教室を設置し、高校等への進学を希望する児童には、高校受験のための学習支援や、必要に応じて、学園から高校等への通学支援を実施する。

また、職業体験やアルバイト就労等を実施し、将来の自立に必要な社会性等を身につけるための支援を行う。

(4) 給 食

毎日提供する給食は、入所児童の健全な発育と健康の維持増進となることから、栄養のバランスや四季折々の旬の食材を取り入れながら調理している。

また、各寮の畑から収穫した野菜や果物を使ったメニューや地元の特産品を使った郷土料理の提供、寮ごとのリクエストメニューの実施、季節の行事を開催するなど、食事を楽しめる工夫も行っている。

行 事 等	内 容 等
5月 おいしい会	各寮で収穫した農作物を活かした料理や手作り苺アイスなどで、児童が一堂に会して、楽しむ食事会とする。
8月 盆踊り会	からあげ、ポテトチップス(園で収穫したもの)、アイス、ジュースなどを提供してお祭り気分を出すことで、夏季期間中の児童の生活に変化をもたらすとともに、地域交流の機会とする。
12月 もちつき会	児童が楽しく雑煮用の餅つきをし、季節を感じるとともに、帰宅訓練時の家族での話題づくりとする。
1月 正月	おせち料理を通して伝統的行事を学び、児童の１年の健康を願う。
2月 節分	兵庫県の特産品である海苔等の食材を恵方巻き、手巻き寿司にして伝統的行事を楽しむ。
3月 お疲れ様会	クラブ活動や学園での生活を振り返りながら、お楽しみメニューを味わい、楽しむ。
特別なメニュー	おいしい会 沖縄料理 おせち 各寮で正月らしく盛り付け リクエストメニュー 寮ごとの希望ﾒﾆｭｰを給食として提供

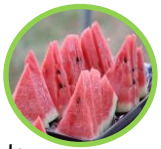
（参 考） 学園で栽培している農作物

春 …… サニーレタス・ほうれん草・じゃが芋・スナップえんどう・さくらんぼ・玉ねぎ・いちご

夏 …… きゅうり・玉ねぎ・イタリアントマト・青梅・スイカ・マスクメロン・プリンスメロン

秋 …… さつまいも・大根・京ねぎ・里芋・栗・柿

冬 …… 大根・ほうれん草・里芋・サニーレタス・白菜



※ 作付けから収穫まで児童が参加し、この収穫物の一部は給食材料としても活用しています。

(5) 児童の権利擁護の取組

入所児童の権利侵害を防ぐために以下の取組を実施している。

① 意見箱の設置

本館、体育館、図書室の３箇所に意見箱を設置し、入所児童が自由に意見や苦情を投函できる。投函された意見や苦情については、園長及び苦情受付担当者が投函者から話を聞き、問題解決を図る。内容によっては、苦情解決第三者委員にも報告の上、助言に基づき解決を図る。

② 「学園生活についてのアンケート」の実施

職員による施設内虐待や児童間のいじめ等を防止し、児童の権利擁護を推進するため、入所児童を対象に年２回、アンケート調査を実施する。

③ 寮代表者会議の実施

入所児童が、学園内でより快適な生活ができるよう、年に１回、寮担当職員と児童が寮内会議を実施し、改善してほしいことや要望などを話し合い、その結果をもって寮代表児童と、園長、副園長、教務第１課長、教務第２課長とが協議を行う。

④ 「苦情解決システム」について

社会福祉法第８２条及び児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第 14 条の3に基づき、入所児童やその保護者等からの苦情に迅速かつ適切に対応するために苦情解決体制を整えている。

- ○ 苦情解決を図るため、学園内に苦情解決責任者、苦情受付担当者及び苦情解決第三者委員を設置する。
- ○ 苦情解決責任者は園長とし、苦情受付担当者は教務第１、第２課長とする。
- ○ 苦情解決第三者委員は、苦情解決に社会性や客観性を確保し、児童の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため、弁護士や学識経験者、民生委員等から選任している。なお、苦情の有無にかかわらず、年１回の定例会議において、情報交換や意見交換等を行っている。

⑤ 「こどもの権利擁護のための意見表明支援事業」について(児童家庭課事業：令和４年４月１日から措置児童に拡大)

一時保護や施設入所措置・里親委託等に係る児童から第三者への意見表明の申し出があれば、兵庫県弁護士会に「意見表明支援員(弁護士)の派遣を依頼し、児童の面接を実施する。

- ○ 児童は、「あなたの未来を開くノート」にある「はがき」、又は直接の電話等から意思表明の申し出ができる。
- ○ 意見表明支援員(弁護士)が、児童との面接の結果、報告書を作成し、案件の内容に応じて、関係機関が協議を行い、その結果をこどもに伝えるなどの対応を行う。

(6) 心理支援

児童心理カウンセラーが、入所前の問題行動の振り返りや、困りごとなどを丁寧に聞き取るなどの個別のカウンセリングを行い、個別の支援につなげている。

また、児童にソーシャルスキルトレーニングを実施し、良好な人間関係づくりに役立てている。

① カウンセリング状況（令和６年度）　　単位：件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新　入　生	0	1	1	3	0	1	3	0	3	1	1	1	15
被虐待児・指導困難児	14	15	12	15	15	13	14	17	12	14	8	31	180
長期在籍児	4	5	5	4	7	3	5	10	4	9	3	8	67
退所予定児	1	0	0	0	2	0	0	2	1	0	1	12	19
計	19	21	18	22	24	17	22	29	20	24	13	52	281

② カウンセリング状況の年度推移　　単位：件

年度	R2	R3	R4	R5	R6
新　入　生	25	18	27	30	15
被虐待児・指導困難児	55	18	169	162	180
長期在籍児	58	27	55	79	67
退所予定児	17	18	19	15	19
計	155	81	270	286	281

カウンセリングルーム

箱庭

(7) 職員専門研修参加状況（令和６年度）

職員の資質向上、専門知識の習得を図り、児童の自立支援に活かすため各種研修に参加している。

研　修　名 （主　催）	開 催 場 所	開催日	参加 人数
マスターズ研修 （兵庫県）	兵庫県自治研修所	5 月 20 日	1
職員研修会（前期） （近畿児童自立支援施設協議会）	滋賀県甲賀合同庁舎	6 月 14 日	3
全国研修会 （全国児童自立支援施設協議会）	大阪市立阿武山学園	9 月 25 日～ 9 月 27 日	4
次世代育成研究会 （近畿児童自立支援施設協議会）	滋賀県庁	10 月 25 日	4
職員女性研修会 （近畿児童自立支援施設協議会）	京都府家庭支援総合センター	11 月 13 日	3
若手職員研修会 （兵庫県こども家庭センター）	県立明石学園	11 月 15 日、 18 日	1
園内研修会 （県立明石学園）	県立明石学園	1 月 10 日	20
中堅職員研修 （国立武蔵野学院）	国立武蔵野学院	1 月 21 日～ 24 日	1
こども家庭センター実務研修 （県立明石学園）	加東こども家庭センター	1 月 20 日～ 25 日	1
職員研修会（後期） （近畿児童自立支援施設協議会）	県立明石学園	2 月 14 日	20
球技研究会 （近畿児童自立支援施設協議会）	滋賀県	2 月 23 日	6
神戸真正塾、少年鑑別所見学会 （県立明石学園）	神戸市	3 月 4 日、6 日	17

(8) 実習生の受入状況（令和６年度）

保育士や社会福祉士の実習生及び、インターンシップやこども家庭センター新任職員を受入れ、児童自立支援をはじめとする児童福祉分野の担い手の養成を支援している。

大　学　名	実　習　内　容	実習期間	受入人数
兵庫大学	保育実習ＩＢ	10 日間	3
	社会福祉実習	2 日間	2
	スクールソーシャルワーク実習	10 日間	3
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	6 日間	1
関西国際大学	社会福祉実習	18 日間	1
	社会福祉実習	10 日間	1
	社会福祉実習	2 日間	1
関西福祉大学	社会福祉実習	5 日間	1
	社会福祉実習	4 日間	1
	ソーシャルワーク実習	8 日間	1
甲南大学	インターンシップ	5 日間	1
神戸学院大学	社会福祉実習	2 日間	1
神戸親和大学	インターンシップ	31 日間	1
京都女子大学	インターンシップ	2 日間	1
東京通信大学	ソーシャルワーク実習	24 日間	1
帝塚山大学	心理実習	3 日間	2
計（９大学）		142 日間	22

センター名	実　習　内　容	実習期間	受入人数
尼崎市子どもの育ち支援センター	職員実習	3 日間	4
兵庫県こども家庭センター	新任職員研修	1 日間	10
計（２センター）		4 日間	14

(9) 日　課

学園では毎日の規則正しい生活を通じて、児童に日常生活の規範を身につけるよう指導している。

＜令和7年度　日課表＞

時間＼曜日	月	火	水	木	金	土	日
6:30	起床						
	ランニング					7:30	
	掃除					起床	
	寮周辺整備					ランニング	8:00
8:00	朝食・登校準備					掃除	起床
						朝食	ランニング
8:45	児童朝礼 (第1月曜日)		H R				掃除
						寮活動	朝食
9:00	1校時						
9:45	休み時間						寮活動
9:55	2校時						
10:40	休み時間						
10:50	3校時						
11:35	休み時間						
11:45	4校時						
						12:00	12:00
12:30	昼食					昼食	昼食
13:30	5校時						
14:15	掃除・HR		掃除・HR				
14:25	下校	6校時	下校		6校時	14:30	寮活動
15:00	クラブ活動		クラブ活動			クラブ活動	余暇活動
15:10		掃除・HR 下校			掃除・HR 下校		
	男子 野球 陸上 卓球	男子 野球 陸上 卓球	男子 美術 陶芸 寮活動	男子 野球 陸上 卓球	男子 寮活動	男子 野球 陸上 卓球	
	女子 バレー 陸上 卓球	女子 バレー 陸上 卓球	女子 茶道 家庭科	女子 バレー 陸上 卓球	女子 エイサー	女子 バレー 陸上 卓球	
18:00	帰寮 掃除・夕食 入浴・自習 余暇・日記						
22:00	就寝						

※月曜日～金曜日の祝日の起床時間は7:30

(10) 年間行事予定（令和7年度）

4 月			5 月			6 月			7 月			8 月			9 月		
1	火	辞令交付式 着任式	1	木		1	日		1	火		1	金	終戦80年追悼式参列	1	月	児童朝礼
2	水		2	金	職員全体会議	2	月	児童朝礼 連絡協議会	2	水	ALT	2	土		2	火	
3	木		3	土	憲法記念日 春季帰宅訓練	3	火		3	木		3	日		3	水	
4	金	職員全体会議 連絡協議会	4	日	みどりの日 春季帰宅訓練	4	水		4	金	職員全体会議 連絡協議会	4	月		4	木	
5	土	保護者・関係機関懇談会	5	月	こどもの日 春季帰宅訓練	5	木		5	土		5	火	ケース研究会	5	金	職員全体会議 連絡協議会
6	日		6	火	振替休日 春季帰宅訓練	6	金	職員全体会議 授業参観 進路説明会	6	日		6	水	盆踊り会	6	土	
7	月		7	水		7	土		7	月	児童朝礼	7	木		7	日	
8	火	着任・始業・入学式	8	木	尿追検査	8	日		8	火		8	金	夏季帰宅訓練	8	月	
9	水	課題実力ﾃｽﾄ	9	金	連絡協議会	9	月	脊柱検査(中1)	9	水	近畿野球大会	9	土	夏季帰宅訓練	9	火	
10	木	身体測定	10	土		10	火		10	木	近畿野球大会	10	日	夏季帰宅訓練	10	水	
11	金	離任式	11	日		11	水		11	金	近畿野球大会 （予備日）	11	月	山の日 夏季帰宅訓練	11	木	
12	土		12	月	児童朝礼	12	木		12	土		12	火	夏季帰宅訓練	12	金	
13	日		13	火		13	金		13	日		13	水	夏季帰宅訓練	13	土	
14	月		14	水	眼科検診	14	土		14	月		14	木	夏季帰宅訓練	14	日	
15	火	ケース研究会	15	木	実力ﾃｽﾄ(中3)	15	日		15	火	ケース研究会	15	金	夏季帰宅訓練	15	月	敬老の日
16	水	内科検診 尿検査	16	金	写生会 おいしい会	16	月	健康診断	16	水	サマーキャンプ	16	土	夏季帰宅訓練	16	火	
17	木		17	土		17	火		17	木	サマーキャンプ	17	日	夏季帰宅訓練	17	水	
18	金		18	日		18	水	期末考査	18	金	終業式	18	月		18	木	中間考査
19	土		19	月		19	木	期末考査	19	土		19	火		19	金	
20	日		20	火	心臓検診(2次)	20	金	期末考査 プール掃除	20	日		20	水		20	土	
21	月	心臓検診(中1) 健康診断	21	水	歯科検診	21	土	プール掃除	21	月	海の日	21	木		21	日	
22	火		22	木	耳鼻科検診 （中1）	22	日	プール掃除	22	火		22	金	連絡協議会	22	月	
23	水		23	金	大阪・関西 万博博覧	23	月		23	水		23	土		23	火	秋分の日
24	木		24	土		24	火		24	木		24	日		24	水	
25	金		25	日		25	水		25	金	性教育 (中2男子以下)	25	月		25	木	
26	土		26	月	トライやる	26	木		26	土		26	火	ケース研究会	26	金	
27	日		27	火	トライやる ケース研究会 尿再検査	27	金	プール開き	27	日	盆踊り練習	27	水		27	土	
28	月	近児協委員会	28	水	トライやる	28	土		28	月		28	木	始業式 園内水泳大会	28	日	プール納め
29	火	昭和の日	29	木	トライやる	29	日		29	火		29	金	課題実力テスト	29	月	
30	水		30	金	トライやる	30	月	ケース研究会	30	水	性教育 (中3男子以下)	30	土		30	火	ケース研究会
			31	土					31	木	ケース研究会 性教育（女子）	31	日				
備考												8月初　明石市野球大会 8月末　近畿水泳交流会					

※第2、第4土曜日　共同作業

10 月			11 月			12 月			1 月			2 月			3 月		
1	水		1	土		1	月	児童朝礼	1	木	元日 冬季帰宅訓練	1	日		1	日	
2	木		2	日		2	火		2	金	冬季帰宅訓練	2	月	児童朝礼	2	月	児童朝礼 ALT
3	金	体育祭	3	月	文化の日	3	水		3	土	冬季帰宅訓練	3	火		3	火	
4	土		4	火	実力ﾃｽﾄ(中3)	4	木		4	日	冬季帰宅訓練	4	水		4	水	
5	日		5	水		5	金	職員全体会議 連絡協議会	5	月		5	木		5	木	
6	月	児童朝礼	6	木		6	土		6	火		6	金	職員全体会議 連絡協議会	6	金	職員全体会議 連絡協議会
7	火		7	金	職員全体会議 連絡協議会	7	日		7	水	始業式	7	土		7	土	
8	水		8	土		8	月		8	木	課題実力ﾃｽﾄ	8	日		8	日	
9	木		9	日		9	火		9	金	職員全体会議 連絡協議会	9	月		9	月	
10	金	職員全体会議 連絡協議会	10	月	児童朝礼	10	水		10	土		10	火		10	火	ケース研究会
11	土		11	火		11	木		11	日		11	水	建国記念の日	11	水	
12	日		12	水	学園祭	12	金		12	月	成人の日	12	木		12	木	公立入試
13	月	スポーツの日	13	木		13	土		13	火		13	金		13	金	
14	火		14	金		14	日		14	水		14	土		14	土	
15	水		15	土		15	月		15	木	性教育（女子）	15	日		15	日	
16	木		16	日		16	火		16	金		16	月		16	月	
17	金	健康診断 身体測定	17	月		17	水		17	土		17	火	ケース研究会	17	火	
18	土		18	火	ケース研究会	18	木		18	日		18	水	学年末考査	18	水	卒業式
19	日		19	水	期末考査	19	金		19	月	性教育 (中2男子以下)	19	木	学年末考査	19	木	公立合格発表
20	月		20	木	期末考査	20	土		20	火		20	金	学年末考査 健康診断	20	金	春分の日
21	火		21	金	期末考査	21	日		21	水		21	土		21	土	
22	水		22	土		22	月		22	木		22	日		22	日	
23	木		23	日	勤労感謝の日	23	火	ケース研究会 ALT	23	金		23	月	天皇誕生日	23	月	
24	金	近畿バレー ボール大会	24	月	振替休日	24	水	終業式 クリスマス会	24	土	近畿卓球大会 （男子）	24	火		24	火	修了式
25	土		25	火		25	木	餅つき会	25	日		25	水		25	水	
26	日		26	水		26	金	冬季帰宅訓練	26	月	性教育 (中3男子以上)	26	木		26	木	
27	月	修学旅行（中3）	27	木		27	土	冬季帰宅訓練	27	火	ケース研究会	27	金	持久走大会 お疲れさま会	27	金	
28	火	修学旅行（中3）	28	金	近畿駅伝大会	28	日	冬季帰宅訓練	28	水		28	土		28	土	
29	水	修学旅行（中3）	29	土		29	月	冬季帰宅訓練	29	木					29	日	
30	木		30	日		30	火	冬季帰宅訓練	30	金					30	月	
31	金	ケース研究会				31	水	冬季帰宅訓練	31	土	近畿卓球大会 （女子）				31	火	ケース研究会
備考																	

4 学 校 教 育 の 実 施

(1) 明石市立魚住中学校　分教室

① 教育目標

ア 教育目標 『生きる力を育み　未来へ切り拓く力を養う』

イ 教育実践の基本方針

・問題を発見・解決するための論理的思考力を身につけさせる。
・主体的に学習に取り組む姿勢を身につけさせる。
・他人を尊重するためのコミュニケーション能力を身につけさせる。
・想像力・表現力を身につけさせる。

② 教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間授業数

区分	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	特活	総合	合計
1年	4	3	4	3	1	2	3	2	4	1	1	1	29
2年	4	3	3	4	2	1	3	2	4	1	1	1	29
3年	3	4	4	4	1	1	3	2	4	1	1	1	29

・学習指導要領上の時間数との相違は、後半(3学期)に特別時間割で修正する。
・総合の時間内で補充をおこなう。

(2) 明石市立清水小学校　分教室

① 教育目標

ア 教育目標 『子どもたちの夢が育つ学校』

イ 教育実践の基本方針

・確かな学力の育成
・豊かな人間性・社会性の育成
・健やかな体の育成

② 教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間授業数

区分	国語	算数	理科	社会	音楽	図工	体育	家庭	道徳	特活	総合	外国語	合計
5年	5	5	3	3	1	2	3	2	1	1	1	2	29
6年	5	5	3	3	1	2	3	2	1	1	1	2	29

・学習指導要領上の時間数との相違は、学期ごとに特別時間割で修正する。

5 令和６年度の実績

（1）月別在籍人数の年度推移（初日現在）　　単位：人

区　分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
R2	男	24	26	26	29	31	30	31	32	36	37	38	38	378
	女	14	14	14	13	12	11	13	12	11	11	12	11	148
	計	38	40	40	42	43	41	44	44	47	48	50	49	526
R3	男	27	29	33	36	37	36	37	39	39	36	37	38	424
	女	5	5	7	7	8	8	8	8	9	9	8	9	91
	計	32	34	40	43	45	44	45	47	48	45	45	47	515
R4	男	23	26	30	29	30	30	29	28	29	32	34	34	354
	女	2	2	4	4	4	4	5	6	7	7	7	8	60
	計	25	28	34	33	34	34	34	34	36	39	41	42	414
R5	男	23	25	26	28	28	27	30	36	38	37	39	41	378
	女	4	5	6	6	7	7	7	7	9	10	11	11	90
	計	27	30	32	34	35	34	37	43	47	47	50	52	468
R6	男	28	27	28	31	32	31	32	33	35	35	37	38	387
	女	9	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	117
	計	37	36	37	41	42	41	42	43	45	45	47	48	504

（2）月別実人数の年度推移（初日現在）　　単位：人

区　分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
R2	男	22	25	26	29	31	30	31	31	35	36	37	37	370
	女	13	12	12	12	12	11	13	11	11	11	12	11	141
	計	35	37	38	41	43	41	44	42	46	47	49	48	511
R3	男	27	29	33	36	35	36	37	39	39	35	36	36	418
	女	5	5	7	6	7	8	8	8	9	8	8	9	88
	計	32	34	40	42	42	44	45	47	48	43	44	45	506
R4	男	23	25	29	26	28	29	28	28	28	32	34	34	344
	女	2	2	4	4	4	4	5	6	7	7	7	8	60
	計	25	27	33	30	32	33	33	34	35	39	41	42	404
R5	男	23	25	25	27	27	26	29	35	36	34	36	38	361
	女	4	5	6	6	7	7	7	7	9	10	11	11	90
	計	27	30	31	33	34	33	36	42	45	44	47	49	451
R6	男	26	26	27	30	31	30	32	32	35	33	36	37	375
	女	9	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	117
	計	35	35	36	40	41	40	42	42	45	43	46	47	492

（3）学年別在籍人数の年度推移（各年度3月1日現在）　　単位：人

区分		小学生					中学生				中卒	合計
		3年	4年	5年	6年	小計	1年	2年	3年	小計		
R2	男			2	4	6	8	12	10	30	2	38
	女				2	2		2	6	8	1	11
	計			2	6	8	8	14	16	38	3	49
R3	男	1			3	4	6	10	16	32	2	38
	女				1	1	1	2	5	8		9
	計	1			4	5	7	12	21	40	2	47
R4	男	1	1			2	10	9	12	31	1	34
	女						4	1	3	8		8
	計	1	1			2	14	10	15	39	1	42
R5	男		1		2	3	6	16	13	35	3	41
	女			1	1	2		6	3	9		11
	計		1	1	3	5	6	22	16	44	3	52
R6	男			1	1	2	7	10	16	33	3	38
	女				1	1	1	1	6	8	1	10
	計			1	2	3	8	11	22	41	4	48

（4）こども家庭センター別入所人数の年度推移（各年度末現在）　　単位：人

区分		中央	尼崎	西宮	川西	加東	姫路	豊岡	県所轄外	合計
R2	男	5		4	5		4		1	19
	女				2		1		1	4
	計	5		4(1)	7(2)		5(1)		2	23(4)
R3	男	3	4	1	5	2	4		2	21
	女	2		2					2	6
	計	5	4	3	5(2)	2	4(3)		4(2)	27(7)
R4	男	3	9	3	10	3	3		3	34
	女	2		1			1		4	8
	計	5(1)	9(2)	4	10(3)	3(1)	4(1)		7(2)	42(10)
R5	男	3	6	6	6	2	2		3	28
	女	4			1		3		1	9
	計	7	6	6(1)	7(1)	2	5(1)		4(1)	37(4)
R6	男	5	3	4	7	2	3		4	28
	女	1	1		1		3			6
	計	6	4	4	8(1)	2	6		4	34(1)

（　）は家裁決定

（5）在籍児童の入所時の学年別人数（令和7年3月1日現在）　　単位：人

区　分	小　　学　　生						中　　学　　生				中 卒	合　　計
	2年	3年	4年	5年	6年	小　計	1年	2年	3年	小　計		
男				1	3	4	14	14	6	34		38
女				1	1	2	2	4	2	8		10
計				2	4	6	16	18	8	42		48

（6）在籍児童の入所理由別人数（令和7年3月1日現在）　　単位：人

区　分	家出 浮浪	窃盗	恐喝 暴力	強盗 傷害	性的 非行	自家 金品 持出	怠学	施設 不適応	里親 不適応	弄火 放火	親子 関係 不良	薬物 乱用	虐待	その他	合計
男		5	5	1	13	1	1	4	2	1	2	1	1	1	38
女	1	1			2			1			3		2		10
計	1	6	5	1	15	1	1	5	2	1	5	1	3	1	48

（7）在籍児童のこども家庭センター・出身地別人数（令和7年3月1日現在）　　単位：人

区　分	出　身　地	人　員			区　分	出　身　地	人　員		
		男	女	計			男	女	計
中央	高砂市		2	2	西宮	西宮市	8		8
	加古川市	2	2	4					
	淡路市	1		1					
	南あわじ市	1		1					
	計	4	4	8		計	8		8
姫路	姫 路 市	3	4	7	尼崎	尼崎市	5	1	6
	福崎町	1		1					
	宍粟市	1		1					
	計	5	4	9		計	5	1	6
加東	西脇市	1		1	豊岡				
	三木市	1		1					
	計	2		2		計			
川西	伊丹市	2	1	3	県所轄外	神戸市	2		2
	宝塚市	3		3		明石市	1		1
	川西市	1		1		京都府	1		1
	（明石市）	1		1		滋賀県	1		1
	（愛知県）	1		1		愛知県	1		1
	計	8	1	9		計	6		6
						合　計	38	10	48

（8）在籍児童の保護者の状況（入所時）（令和7年3月1日現在）　　単位：人

区　分	実父 実母	実父 のみ	実母 のみ	実父 養母	養父 実母	養父 養母	祖母 のみ	曾祖母 のみ	不在	合　計
男	13	3	13		5	1	1	1	1	38
女	3	2	4		1					10
計	16	5	17		6	1	1	1	1	48

（9）在籍児童の被虐待状況の年度推移（各年度3月1日現在）　　単位：人

区　分	ﾈｸﾞﾚｸﾄ	身体的	心理的	性的	合　計 A	在籍児童数 B	割　合 A/B
R2	3	17	3		23	49	47%
R3	4	22	3		29	47	62%
R4	6	19	3		28	42	67%
R5	8	27	5		40	52	77%
R6	6	20	10		36	48	75%

（10）入所児童の障害等状況の年度推移（各年度末現在）　　単位：人

区　分	ADHD	広汎性 発達障害	LD	軽度 知的障害	その他	合計 A	在籍児童数 B	割　合 A/B
R2	4	7		3	1	15	23	65%
R3	9	4		1		14	27	52%
R4	4	7		2		13	28	46%
R5	4	9		6	5	24	37	65%
R6	7	14		4	2	27	34	79%

（11）問題行動等報告の年度別内訳

区　分	無断外出	無外未遂＊	喧嘩・暴力	対人関係不良 いじめ　威圧	盗み	喫煙	持ち込み＊	薬物等吸引	器物破損	生活・授業等 指導不服従	刺青（ﾋﾟｱｽ）眉毛	物品交換等	手紙交換等	性的逸脱等	生活・授業等 迷惑行為	自傷行為	事故怪我等	身体接触	帰省・許外中 の問題行動＊
R2	○	○	○	○	○				○	○		○		○	○	○			○
R3	○	○	○	○					○	○	○	○	○		○	○		○	○
R4	○	○	○	○	○		○		○	○	○		○		○	○	○		
R5	○	○	○	○	○			○	○	○		○		○	○			○	○
R6	○		○	○	○		○			○		○	○	○	○				○

「無外」：無断外出　「許外」：許可外出
「持ち込み」：許可されていない物の持ち込み

(12)無断外出の発生状況の年度推移(各年度末現在)　　単位:人

区　分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
男	3	3	1	2	2	4	3	3	1	1
女			1	1						
合　計	3	3	2	3	2	4	3	3	1	1

(13)退所児童の在籍期間の年度推移(各年度末現在)　　単位:人

区　分		0.5年 未満	0.5 ～ 1未満	1 ～ 1.5未満	1.5 ～ 2未満	2 ～ 2.5未満	2.5 ～ 3未満	3 ～ 3.5未満	3.5年 以上	合　計
R2	男		4	2	7	1	2			16
	女		3	3	4	1	1	1		13
	計		7	5	11	2	3	1		29
R3	男	1	7	6	6	2		1	1	24
	女		6	2	1					9
	計	1	13	8	7	2		1	1	33
R4	男	2	6	5	1	3	3	1	2	23
	女		2	2						4
	計	2	8	7	1	3	3	1	2	27
R5	男	2	6	2	7	1				18
	女		1	1						2
	計	2	7	3	7	1				20
R6	男		4	3	9	2	2		1	21
	女			3			2			5
	計		4	6	9	2	4		1	26

(14)退所理由の内訳の年度推移(各年度末現在)　　単位:人

区分		自立支援達成							自立支援未達成					合計
		進学	復学	就職	自立就職	他施設	家庭復帰	小計	家裁	他施設	家庭引取	その他	小計	
R2	男	7	3	1		4		15	1				1	16
	女	4	1	1		5		11			2		2	13
	計	11	4	2		9		26	1		2		3	29
R3	男	9	11			4		24						24
	女	4	2	1		2		9						9
	計	13	13	1		6		33						33
R4	男	12	3	1		4		20		1	2		3	23
	女	1	1			2		4						4
	計	13	4	1		6		24		1	2		3	27
R5	男	9	4			3		16		2			2	18
	女	2						2						2
	計	11	4			3		18		2			2	20
R6	男	11	4			5		20				1	1	21
	女	2	2			1		5						5
	計	13	6			6		25				1	1	26

(15)中学卒業生進路の内訳の年度推移(各年度末現在)　　単位:人

区分		社会復帰														継続在園								総数
		進学									就職				その他	進学					就職		園内	
		全日制高校			定時制高校	専門各種学校	職業訓練校	特別支援学校	通信制高校	多部制高校	家庭復帰	自立住込就職	定時制高校	通信制高校		全日制高校			定時制高校	多部制高校	就職通勤	通信制高校	園内指導	
		公立	私立	計												公立	私立	計						
R2	男	3	3	6				1		1	1		( )											9
	女	2	1	3	1								(1)										1	5
	計	5	4	9	1			1		1	1		(1)										1	14
R3	男	5	9	14				1		1			( )										2	18
	女		3	3					1	1			( )											5
	計	5	12	17				1	1	2			( )										2	23
R4	男	5	2	7					2	1			( )						2					12
	女	3		3									( )											3
	計	8	2	10					2	1			( )						2					15
R5	男	3	3	6				1	1	1			( )			1		1					1	11
	女		2	2									( )										1	3
	計	3	5	8				1	1	1			( )			1		1					2	14
R6	男	4	4	8		1		2		1			( )			2		2					1	15
	女		2	2				1					( )			2	1	3						6
	計	4	6	10		1		3		1			( )			4	1	5					1	21

( )は再掲

6 行事・クラブ活動

(1)主要行事一覧（令和6年度）

月	日	内　　容
4	1	辞令交付式・着任式
	6	保護者・関係機関懇談会
	8	1学期始業式・中学校入学式
	19	サーカス観覧（森ノ宮会場）
5	3	春季帰宅訓練（～6）
	7	実力テスト
	17	写生会・おいしい会
	23	パラ陸上観戦（ユニバー記念競技場）
	24	県児童養護連絡協議会総会
6	7	授業参観・進路説明会
	10	心肺蘇生法講習
	15	漢字検定
	19	期末考査（～21）
	28	プール開き
	29	兵庫県児童福祉施設卓球大会（王子ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ）
7	1	サマーキャンプ前衛生講習会
	9	近畿児童自立支援施設野球大会（～10）（三木山総合公園）
	17	サマーキャンプ（～18）（いえしま自然体験センター）
	19	1学期終業式
	22	トライやるウィーク（～26）
	31	インターネット研修
8	2	盆踊り会
	7	明石市野球大会（～9）（県立明石公園）
	9	夏季帰宅訓練（～18）
	22	エイサー強化練習（～24）
	26	園内水泳大会
	28	2学期始業式
	29	実力テスト
9	13	体育祭
	22	市内新人卓球大会（明石市中央体育館）

5月

写生大会

パラ陸上観戦

7月

サマーキャンプ

8月

エイサー強化練習

9月

体育祭

月	日	内　　容
10	3	中間考査（～4）
	5	薬物乱用防止教室
	8	避難訓練
	12	漢字検定
	19	兵庫県下児童福祉施設入所児童ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ大会（三木山総合公園）
	23	近畿児童自立支援施設女子ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ大会（八尾市立総合体育館）
	26	東播駅伝大会（加古川運動公園）
	28	修学旅行（～30）（沖縄県）
11	5	中3実力テスト
	8	学園祭
	17	近隣地区親善バレーボール大会
	20	期末考査（ ～22）
	28	近畿児童自立支援施設駅伝大会（滋賀県希望が丘文化公園）
12	8	明石市民卓球大会
	13	命の授業
	24	2学期終業式
	24	クリスマス会
	26	餅つき会
	27	冬季帰宅訓練（～1/5）
1	7	3学期始業式
	10	園内人権研修
	14	寮代表者会議（～30）
	17	震災追悼行事
	25	近畿児童自立支援施設男子卓球大会（明石学園）
2	10	私立高校入試
	15	漢字検定
	17	公立推薦・特色選抜・多部制入試
	17	薬物乱用防止教室
	19	学年末考査（～21）
	21	持久走大会、クラブお疲れ様会
3	12	県内公立高校入試
	18	明石学園小・中学校卒業式
	19	公立学校合格発表
	24	修了式

１０月

修学旅行

１１月

学園祭

駅伝大会

２月

クラブお疲れ様会

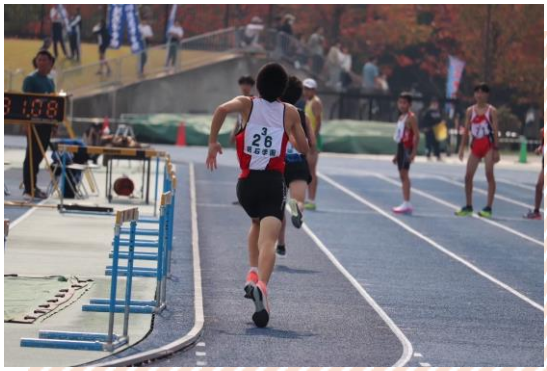
３月

修了式

(2) クラブ活動の成績（近畿・全国大会）

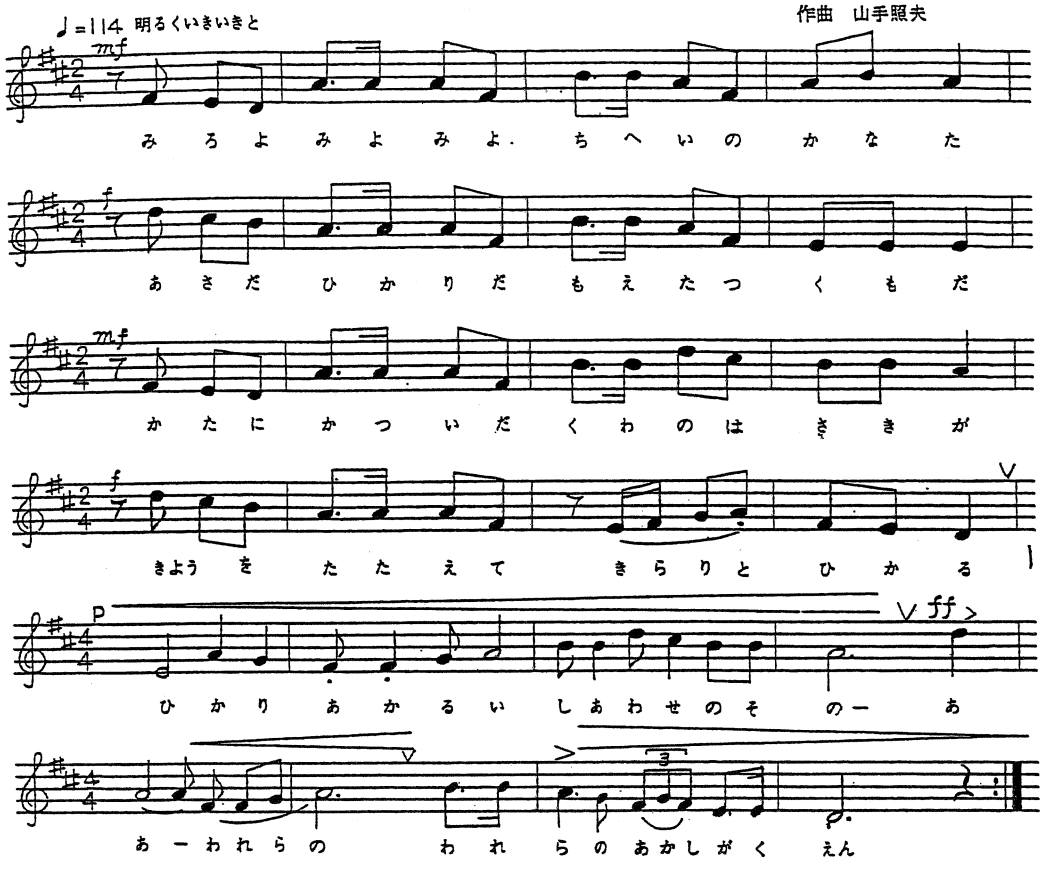
区　分	野　　球		女子バレーボール	駅　　伝		卓　　球	
	近　畿 ※	全国 ※		男　子	女　子	男　子	女　子
令和元年度	第３位 （神戸市）		優勝 （奈良県）	準優勝 （滋賀県）	準優勝	準優勝 （神戸市）	第５位
２年度	１回戦敗退 （大阪市）		第３位 （京都府）	準優勝 （滋賀県）	準優勝	（中止）	
３年度	第３位 （大阪府）		予選リーグ敗退 （大阪市）	準優勝 （滋賀県）	不参加	（中止）	
４年度	１回戦敗退 （和歌山県）		予選リーグ敗退 （神戸市）	第５位 （滋賀県）	第４位	第３位 （大阪市）	（不参加）
５年度	１回戦敗退 （京都府）		第４位 （和歌山県）	第５位 （滋賀県）	準優勝	第４位 （神戸市）	第５位
６年度	第３位 （三木市）		準優勝 （大阪府）	第３位 （滋賀県）	第２位	第４位 （明石市）	（不参加）

（注）・（　　）書きは開催地
・令和２年度、３年度の全国野球大会及び近畿卓球大会は、新型コロナ感染拡大防止のため中止
・令和４年度の卓球女子は、コロナ感染のため不参加
※近畿、全国は、近畿児童自立支援施設協議会、全国児童自立支援施設協議会を指す。



学園歌『波の彼方に』

作詞　梶輪喜一
作曲　山手照夫



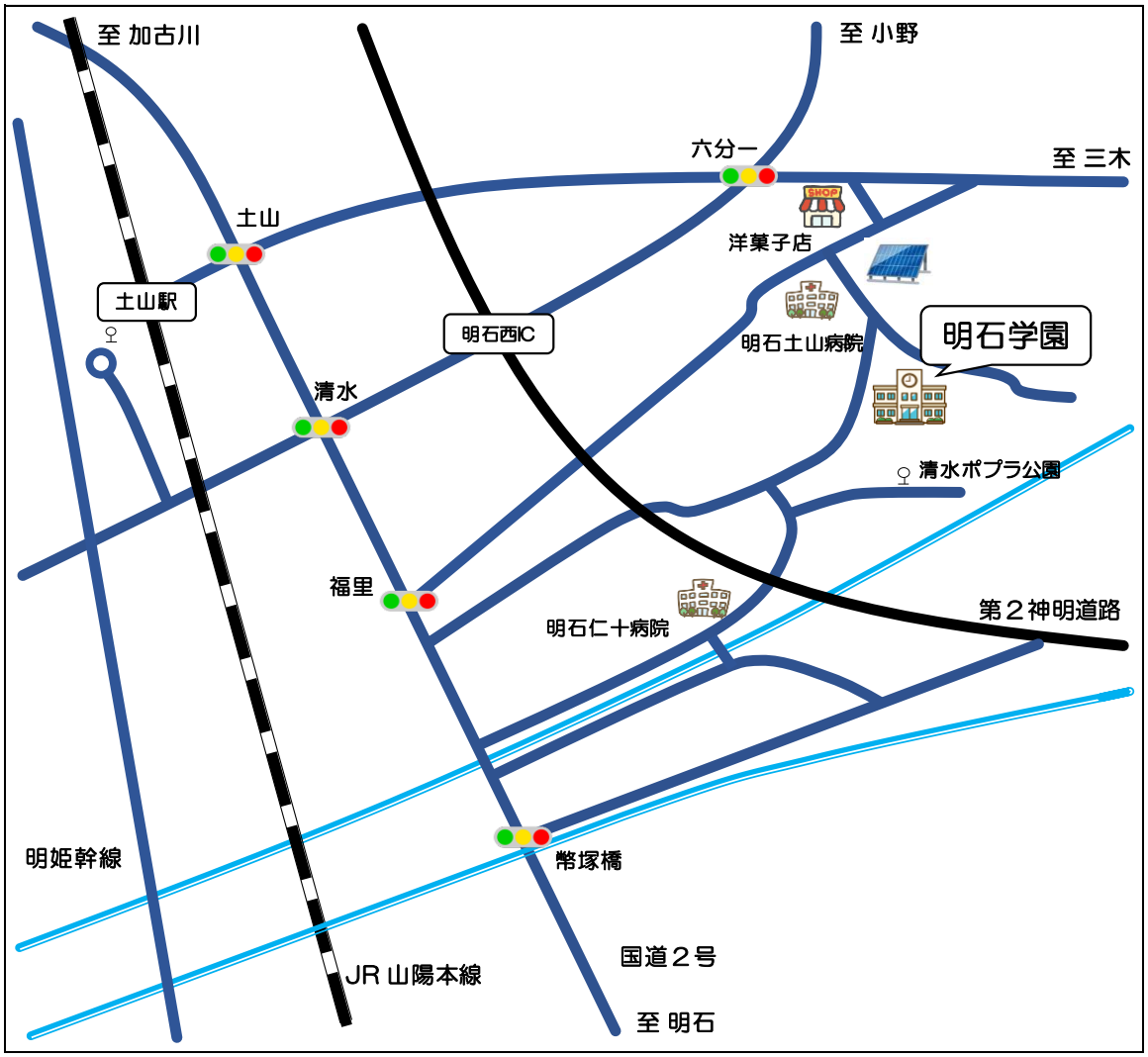
学園歌『波の彼方に』

一、
見ろよ　見よ見よ　地平の彼方
朝だ　光だ　燃え立つ雲だ
肩に担いだ　鍬の刃先が
今日を讃えて　キラリと光る
光　明るい　幸せの園
あゝ我等の　我等の　明石学園

二、
どんと　やれやれ　精魂こめて
若い血潮だ　燃え立つ胸だ
心と体　がっちり鍛え
明日に備える　揺がぬ力
培う　幸せの園
あゝ我等の　我等の　明石学園

三、
行けよ　行け行け　怒涛を越えて
負けて　たまるか　燃え立つ意地だ
波の彼方に　輝くものは
胸に抱いた　明日の希望
希望果てない　幸せの園
あゝ我等の　我等の　明石学園

案　内　図



○交通

・ＪＲ土山駅から徒歩３０分、タクシーで１０分

・ＪＲ魚住駅からタクシーで１５分

・明石西ＩＣから車で５分

・ＪＲ土山駅南口（東寄り）から明石市コミュニティバス（Ｔａｃｏバスミニ）
清水西ルートで「清水ポプラ公園」下車（バス１５～２０分)、徒歩５分

兵庫県立明石学園

〒674-0074
兵庫県明石市魚住町清水２７４４
TEL０７８－９４２－１５７２
FAX０７８－９４１－１２６４
E-mail　Akashigakuen@pref.hyogo.lg.jp